



第84卷 第5号 史学・地理学・考古学

論 説

- 室町幕府の「御料所」納錢方支配……………田 中 淳 子 (1)
- サン・マルコ財務官と中世ヴェネツィア都市民……………高 田 京比子 (34)
——遺言書史料に見る行政機構の発展——
- 八・九世紀トスカーナ地方南部の土地貸借文書……………西 村 善 矢 (66)
——自由農民の没落をめぐって——

研究ノート

- スイジスターンの「ハワーリジュ」とは何か……………余 部 福 三 (100)

書 評

- 中山昭吉・松川克彦編『ヨーロッパ史研究の新地平
——ポーランドからのまなざし——』……………福 嶋 千 穂 (121)
福 棍 さ や か
置 村 公 男
- 伊藤之雄著『立憲国家と日露戦争
——外交と内政 一八九八～一九〇五——』……………小 林 道 彦 (129)

紹 介

- 秋山進午著『東北アジア民族文化研究』(廣川 守)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

遺跡など、現在のところ概報の断片的な情報しか知られていない主要遺跡について、現地踏査の結果を紹介し断片情報を補いながら、その重要性を示唆している。

第二部は、九〇―九二年の三年度にわたって実施された、遼寧省文物考古研究所との共同調査のうち、凌源城子山城塞遺跡測量調査と関連遺跡出土遺物調査に関する成果を紹介する。本書中で最も調査報告的性格を強く打ち出しているところであるが、単なる城子山城塞遺跡調査報告ではなく、その他の夏家店下層文化城塞遺跡の踏査結果もふまえながら、夏家店下層文化の城塞論および住居論などを展開している。

第三部では、著者が一九六〇年代終わりに発表した「中国東北地方の初期金属器文化の様相―考古資料、とくに青銅短剣を中心として―」(『考古学雑誌』五三―五四―一・四)を基礎に据え、九〇年代に行った実見実測調査を網羅的に紹介しながら、論旨の補強をおこなっている。なかでも、遼寧東部の青銅短剣が実用品でないことを示した点、内蒙古呼倫貝爾出土の短剣二件の性格の相違を明らかにした点などは、実見調査の重要な成果であろう。

以上、本書の特徴をごく簡単に紹介したが、とにかく全編にわたり現地調査を重視する姿勢が一貫してみられる。戦後、日本人考古学者が長い間現地調査を行うことのできなかった中国考古学研究においては、現在でも報告書などいわば間接資料だけに頼った研究に陥りやすい。その点で本書は考古学の基本である実地踏査や関連遺物の現物調査が、いかに重要であるかを改めて知らしめる書となっている。単に東北アジア地域における考古学上の最新動向を伝えるだけでなく、海外考古学研究を志す後学にとって、一つの目標、指針となる重要な文献といえることができる。

(B5判 三八六頁 二〇〇〇年二月)

同朋舎 一八、〇〇〇円)

(廣川守 泉屋博物館学書課主査)

受 贈 誌

(二〇〇一年七月―八月)

福建師範大学学報(福建師範大学図書館)

一一〇・一一一

日本研究(国際日本文化研究センター)二

一・二二・二三

大美和(大神神社社務所)一〇一

史迹と美術(史迹美術同致会)七一五・七

一六

国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民俗博物館)九〇

族博物誌)

韓國民族文化(釜山大学校、韓國民族文化

研究所)一六

史学研究(広島史学研究会)二二三・二三

三

国家学会雑誌(国家学会事務所)一一四―

五/六

日本民俗学(日本民俗学会)二二五

歴史(東北史学会)九六

アジアフォーラム(大阪経済法科大学アジア

ア研究所)二二二

東アジア研究(大阪経済法科大学アジア研

究所)三三二

経済学研究(九州大学経済学会)六七―四

／五

紀要（皇學館大學文學部）三九

東洋大學文學部紀要（東洋大學文學部史學

科研究室）五四史學科篇二六

白山史學（白山史學會）三七

日本史研究（日本史研究會）四六六・四六

七

日本歷史（日本歷史學會）六三八・六三九

史學雜誌（史學會）一一〇—五・六・七

東洋史研究（東洋史研究會）六〇—

歷史學報（歷史學會）一七〇

一橋論叢（一橋大學一橋學會）一二六一

一・二

信濃（信濃史學會）五三一・七

CENTER FOR ACADEMIC PUB-

LICATION JAPAN CURRENT CON-

TENTS OF ACADEMIC JOURNALS

IN JAPAN 27

國立台灣大學法學論叢（國立台灣大學法律

學系出版）三〇—二

人類學雜誌（日本學會事務センター）一〇

九一・二

法學志林（法政大學法學志林協會）特別編

集号 九八—二・三・四

日本常民文化紀要（成城大學大学院文學研

究科）二二

經濟科學（名古屋大學經濟學研究所）四九

—

ВЕСТИК ДРЕВНЕЙ ИСТОРИИ

(НАУКА) 2

ЭКОНОМИЧЕСКОЕ ОБОЗРЕНИЕ

(НАУКА) 3

日本學研究（金沢工業大學日本學研究所）

四

一橋研究（一橋研究編集委員會）二六一—

三康文化研究所年報（三康文化研究所）三

二

立命館文學（立命館大學人文學會）五七〇

東方學會報（東方學會）八〇

新潟県立歴史博物館研究紀要（新潟県立歴

史博物館）二

熊本史學（熊本史學會）七六・七七合併号

經濟論叢別冊調査と研究（京都大學經濟學

會）二〇

經濟論叢（京都大學經濟學會）一六五—

四・五／六

福岡大學綜合研究所報（福岡大學綜合研究

所）二四四・二四七

經濟研究（一橋大學經濟研究所）五二—三

史泉（関西大學史學・地理學會）九四

經濟學研究（九州大學經濟學會）六七—六

田辺市史研究（田辺市史編さん委員會）一

三

歷史語研究集刊（中央研究院）七二—一・

二

東洋學報（東洋文庫）八三—一

人文地理（人文地理學會）五三—三

アジア研究所報（亜細亞大學アジア研究

所）一〇三

岐阜經濟大學論集（岐阜經濟大學學會）三

四—四

海南史學（高知海南史學會）三九

愛知大學文學論叢（愛知大學文學會）二二

四

經濟論叢（九州大學大学院經濟學會）一一

〇 史學（三田史學會）七〇—三／四

福岡大學人文論叢（福岡大學研究推進部）

三三—一

歷史學と歴史教育（歴史學と歴史教育）

の會）六〇

越佐研究（新潟県人文研究会）五八

鴨台史學（大正大學史學會）二

韓國史研究叢報（國史編纂委員會）一一三

『史林』投稿規定

- ◇資格 本协会会员であること。
- ◇投稿受付原稿の種類、長さ
 - 論説 四〇〇字詰八〇枚以内
 - 研究ノート 四〇〇字詰五〇枚以内
 - 研究動向 四〇〇字詰五〇枚以内
 - 書評 四〇〇字詰二〇枚以内
 - 紹介 四〇〇字詰三枚程度
- ◇論説には四〇〇字以内の「要約」と「欧文要約」を添付のこと。
- ◇研究ノート・研究動向・書評には、「欧文タイトル」のみ添付のこと。
- ◇注は各章末に入れること。
- ◇ワープロ原稿の場合には、フロッピー(MS-DOS)のテキストファイル、機種を明記する()を添付のこと。
千六百八十五の一 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

御注意

図表、あるいは特殊活字を掲載する場合には、その印刷経費の一部を負担していただくことがあります。

『史林』投稿規定補足

ワープロデータ支給要領

※ワープロデータを支給していただく場合、左記の保存内容でお願いします。

・拡張子が「.TXT」となるテキストデータで保存して下さい。また、本文と注を分けて別のファイルとして保存していただいた方が作業が早くなります。

例 HONBUN.TXT

・右記の保存方法が不可能な場合、ワープロ専用機の保存方法で結構ですが、機種名をラベルなどにご記載下さい。Mac・パソコン(Windows)使用の場合、機種名に加えてソフト名の表記もお願いします。

・基本的に、投稿論文のデータのみを保存して下さい。不必要なデータがある場合は明瞭にして下さい(ラベルに表記など)。
・フロッピーディスクは、3・5インチ2DD(640KBモノ)か、3・5インチ2HD(1・2MB)をお願いします。フロッピー形式は明記して下さい。

編集後記

史資料の検索・図表作成等、我々の研究分野でもパソコンは欠かせないものになっています。ただそのためか、近年発表される論文には、データの羅列・集成に終始する安易なものも多く、しばしば失望します。今こそ、情報を取捨選択しエッセンスを抽出する論理的思考力が要求されるのではないでしょうか。学問の秋。研究者は「考え人」でありたいものです。(秋)

本誌には文部省科学研究費補助金研究成果公開促進費が交付されております。

二〇〇一年八月二五日印刷 定価二二〇〇円
二〇〇一年九月一日発行

史林 第八四巻第五号(通巻第四二九号)

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

発行人 史学研究会

振替京都〇〇七〇二一五五番
理事長 石原潤

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上鳥羽薬田二九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXXXIV No. 5

September 2001

CONTENTS

Articles :

- TANAKA Junko, The System and the Position of *Nassenkata* 納錢方
as one of 'Goryosyo 御料所' on Muromachi Bakufu Finances (1)
- TAKADA Keiko, The Development of the Procurators of San Marco
in Thirteenth-Century Venice : A social Interpretation (34)
- NISHIMURA Yoshiya, Written Leases of Lands in the Southern Tuscany
during the Eighth and Ninth Centuries : On the Decline of the Free
Peasantry in Italy (66)

Note

- AMABE Fukuzo, What were the Khawārij of Sijistān? (100)

Book Reviews :

- NAKAYAMA Akiyoshi and MATSUKAWA Katsuhiko (eds.), "New Horizons
of European Historical Studies : The View from Poland"
(FUKUSHIMA Chiho, KAJI Sayaka, OKIMURA Kimio) (121)
- ITO Yukio, "Japanese Constitutional State and the Russo-Japanese War :
Diplomacy and Domestic Politics 1898-1905" (KOBAYASHI Michihiko) ... (129)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386-9369